

第７回
定時株主総会

株式会社レスター

証券コード　3156

議決権数報告

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

グローバルな1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

監査報告

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

グローバルな1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

報告事項

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

グローバルな1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

2025年4月1日～2026年3月31日

事業報告

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

グローバルな1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

項　目	ページ
当事業年度の事業	24~27
財　産・損　益	28~29
親会社・子会社	30
対処すべき課題	31

項　目	ページ
事業内容・事業所	32~33
使　用　人・借　入　先	34
会　　社　　の　　現　　況	35~46

項　目	ページ
連結貸借対照表	47

2026年3月期連結業績

（単位：百万円）	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	561,001	―	**630,905**	―	**69,903**	12.5%
売上総利益	47,700	8.5%	**53,613**	**8.5%**	5,913	12.4%
販売管理費	33,526	6.0%	**36,873**	**5.8%** （前期比△0.2pt）	3,347	10.0%
営業利益	14,174	2.5%	**16,739**	**2.7%**	2,565	18.1%
経常利益	9,559	1.7%	**13,762**	**2.2%**	4,202	44.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,473	1.3%	**7,691**	**1.2%**	218	2.9%

レスターグループの事業概況

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

グローバルな1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

当社業界を取り巻く外部環境

事業環境はかつてないスピードで変化

マクロ経済・市場



- インフレ
- 金利上昇
- 為替ボラティリティ
- 米関税影響
- 原材料・エネルギ高騰

地政学的リスク



- 経済安全保障
- イラン戦争
- ウクライナ侵攻継続
- 米中デカップリング
- チャイナ＋1

成長分野



AI

- ロボティクス
- モビリティ
- データーセンター
- セキュリティ
- エネルギー

業界構造の変化



- クロスボーダーM&A
- 代理店の集約
- 異業種の参入
- メーカー直販化
- 商社の様態変化

2025年度の経営課題と着手のポイント

勝ち筋　（＝成長戦略）

将来のあるべき姿から逆算し、
お客様の価値最大化を実現する

1. データドリブン経営
2. グループシナジー発揮

基礎体力づくり（＝経営体質）

グローバル競争力の強化と
IT運用力の研鑽

3. AI活用推進
4. スピード経営

組織風土　（＝人事／組織）

人材の活用と挑戦できる
組織の醸成

5. 人財活性化
6. 職能ガバナンス
7. コミュニケーション良化

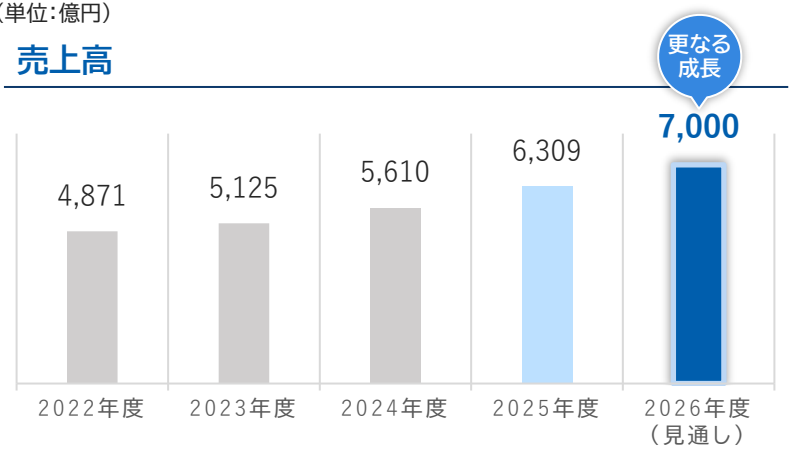
CSV経営の推進と、株主還元の充実による企業価値の向上

**グローバルな1兆円規模の
エレクトロニクスの情報プラットフォーマーを実現**

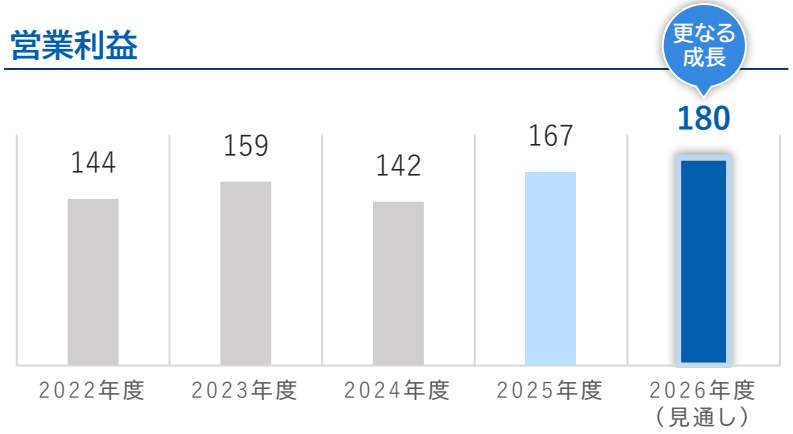
2026年度の事業目標

（単位：億円）

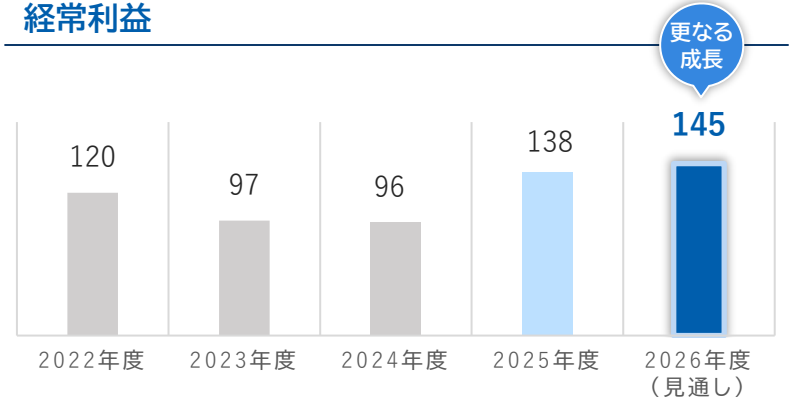
売上高



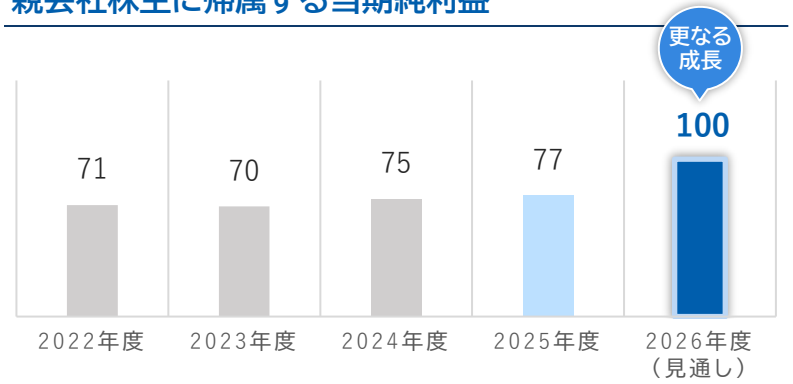
営業利益



経常利益

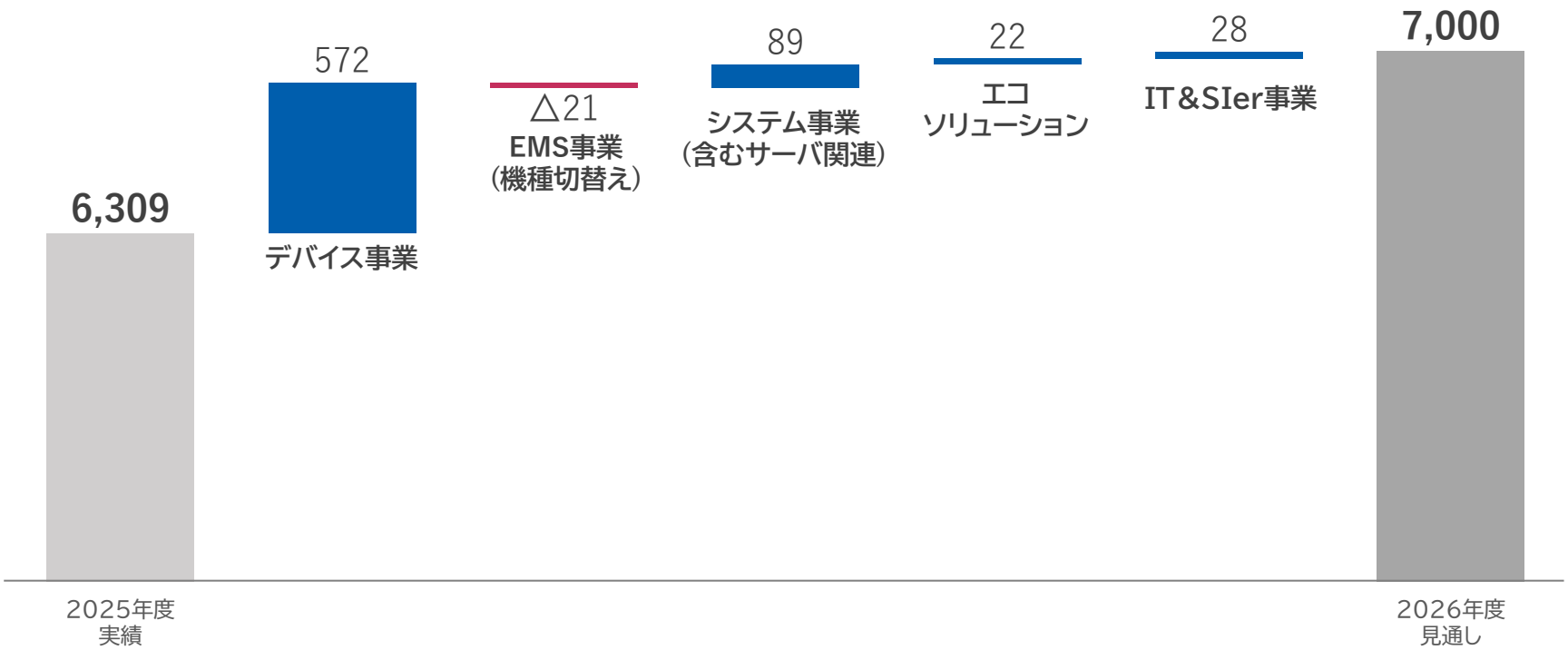


親会社株主に帰属する当期純利益



売上高差異分析（2025年度 vs 2026年度）

（単位：億円）



2026年度の重点施策

資産の利活用を最大化

データドリブン経営の加速



- ✓ 各種データの集約・分析ができる情報PF構築
- ✓ BIツールの充実

エンジニアリング機能強化



- ✓ デバイス事業領域拡大（設計、検査、ターンキーソリューションの実践による顧客価値の創出）

IT＆SIerにおけるDX支援



- ✓ グループの顧客基盤を見渡し、サプライチェーン全体の顧客DXを支援

事業を支える力を強化

グローバル基盤拡大



- ✓ グローバルHQ制の導入に向けた人材育成と体制強化（海外売上比率アップをアウトプット）

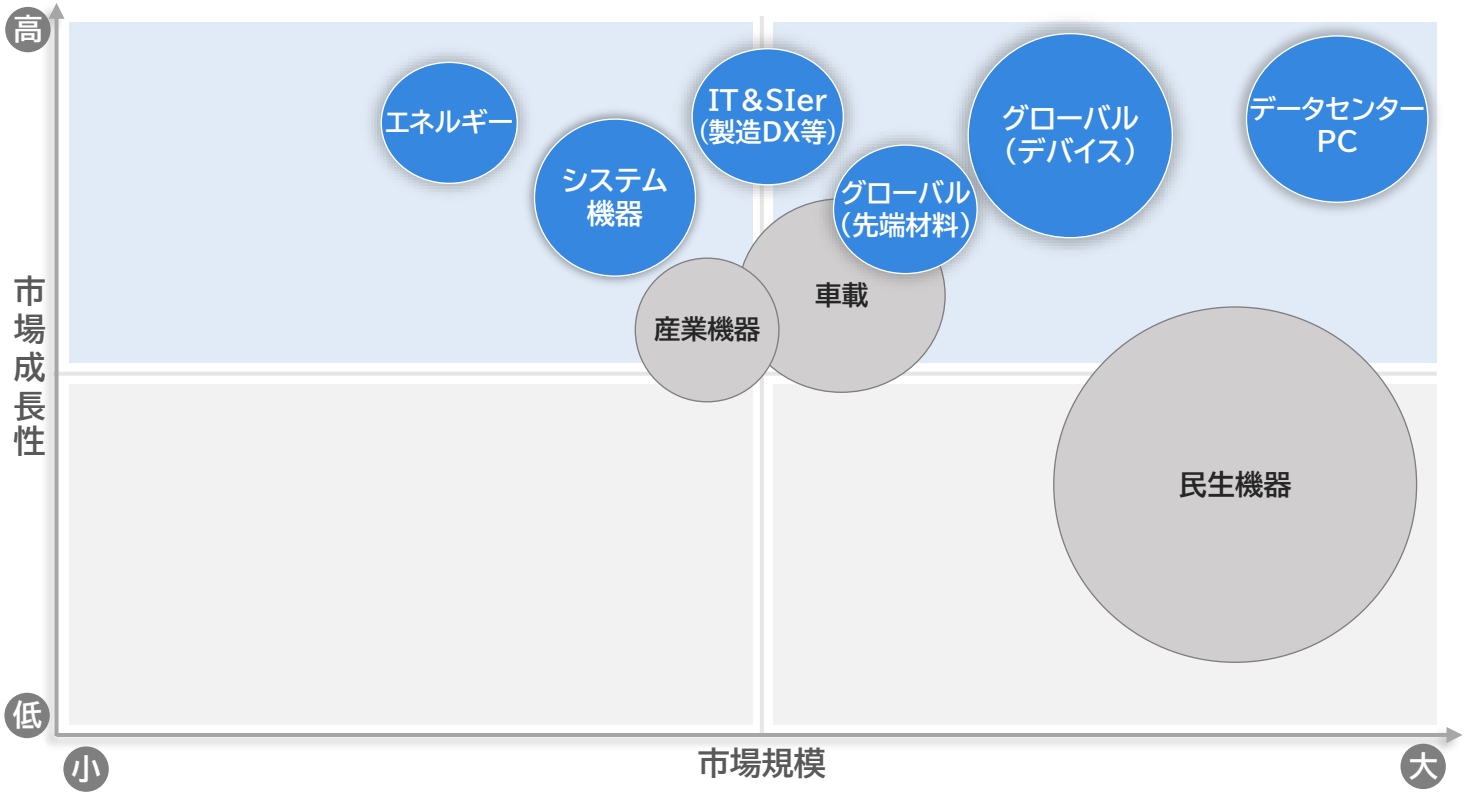
事業ポートフォリオの改革



- ✓ 弛まない事業ポートフォリオの見直しによる企業価値の向上

市場規模と市場成長性における当社の事業分布イメージ

- デバイス関連のグローバル向け、付加価値創出のエネルギー・システム機器、製造DXを中心としたIT＆SIerなど市場成長性の高い領域への取組強化



※円の大きさは当社における売上規模を表しております

デバイスBU

- グローバル展開の加速、パートナーシップの深耕による更なるソリューション力の向上

1 デクセリアルズとのパートナーシップ拡大

A）戦略的パートナーシップのアジア地域への拡大

B） 顧客のすそ野拡大、アプリケーションの横展開による拡販

C）中国市場データーセンター向け商材のデザインウィン獲得

デクセリアルズ共創

2025年度売上実績
+15%
（対2025年度計画比）

2 WPGグループとの連携強化

A）フォトニクス製品の中華圏での拡販

B）調達代行ビジネス：グローバルSCMコラボレーション推進

C）マーケティング強化による新規事業創造

WPG共創

海外顧客開拓
日系デバイスの拡販
SCM活用

3 レスター・フラモスによる欧米本格展開

A）欧米におけるラインカード拡充

B）産業機器、医療、ロボティクス市場でのビジネス拡大

C）クロスセル、ソリューション提供への進化

Restar Framos協業

欧米市場への橋頭保
ビジョンAIソリューションを
デバイスBU全体で推進

システムBU

- 顧客基盤を活用し、システムやエネルギーといったインフラ面における高付加価値サービスを提供

システムソリューション

映像・音響・情報通信機器の
トータルソリューションプロバイダーへ

映像・音響システム

■ 会議・議会システム
■ 音響・映像 等





サービス・運営支援



■ 保守・メンテナンス
■ レンタルサービス等

LED
クラウド
顧客課題解決型ソリューション
AI
EC

■ 地域DX支援
（データセンター等）



IT/DXソリューション



Well being

■ コンテンツ制作・運用
■ オフィス空間デザイン 等

コンテンツ・空間デザイン

メディア・コンテンツサービスなど
システムソリューションの提供

エコソリューション

新たな価値創造のステージとなる
グループ力を活かした総合エネルギー企業へ

電気を創る

発電・蓄電事業



電気を届ける

小売事業



総合エネルギー企業としての付加価値提供



EPC・O＆M事業

電気設備をつくる・維持する



アグリゲーション*事業

電気を調整する

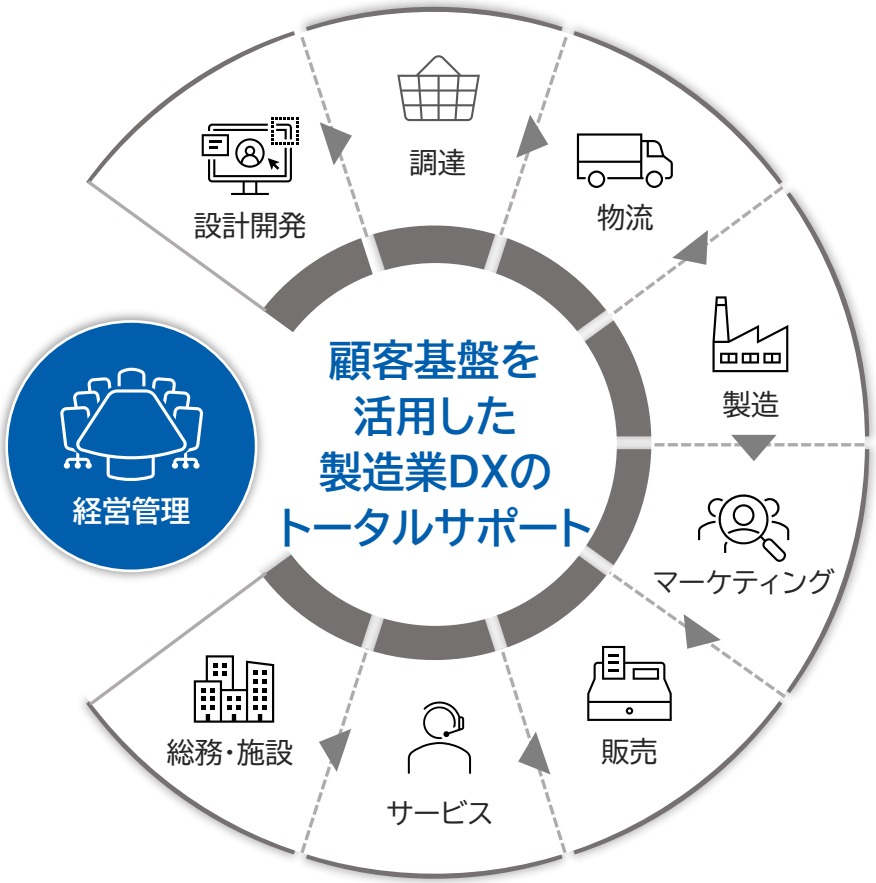
総合的なエネルギーソリューションを展開し、
カーボンニュートラルの実現に貢献

*アグリゲーション：複数の発電・蓄電設備をまとめて制御し需給バランスを調整する役割

IT&SIerBU

経営管理

- データ分析基盤
- SI ERP導入
- 業務サブシステム構築
- 固定資産管理



設計開発

- 組込み機器向けソフトウェア開発
- 組込みPCハード開発
- ターンキーソリューション

調達

- SCMシステム導入支援

製造

- AIによるスマートファクトリ化

企業価値向上に向けた活動

人的資本

① 「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」認定取得

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

② 女性活躍促進における女性管理職比率

2030年度目標 10%

③ タウンホールミーティングの実施による組織風土の醸成

ステークホルダーとの対話

① 機関投資家との面談件数

2024年度比（実績）	2025年度比（目標）
10%増	15%増

② ①のうち、海外機関投資家との面談件数

2024年度比（実績）	2025年度比（目標）
25%増	25%増

▶ 引き続き、積極的に会話の機会を設け、エンゲージメント確保を図る

アスリート支援

新たな挑戦、更なる高みを目指すアスリートたちを支援し、共に新たな夢に挑む







半導体商社の変遷と今後の展開：エレクトロニクスの情報プラットフォーマー

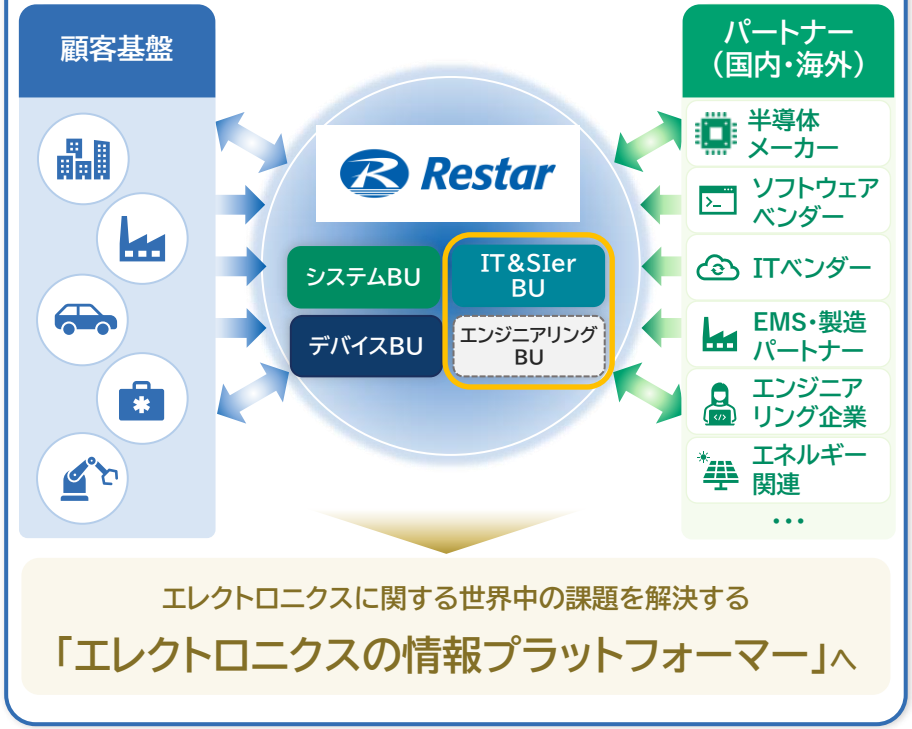
従来の半導体商社を超えた技術領域（IT＆SIerやエンジニアリング）の機能拡充と、グローバルなソリューション提供による顧客価値創造企業への転換

時代の変化とともに進化し続ける提供価値

1960-1970年代	1980-1990年代	2000-2010年代	2020年代以降
流通と与信機能	エレクトロニクス商社機能確立	グローバル化対応の加速	高付加価値化とグローバル展開
			
カーオーディオ	テレビ・家電	PC・スマホ	グローバル・AI

合従連衡の時代へ

グローバルなソリューション提供による新たな価値の創出

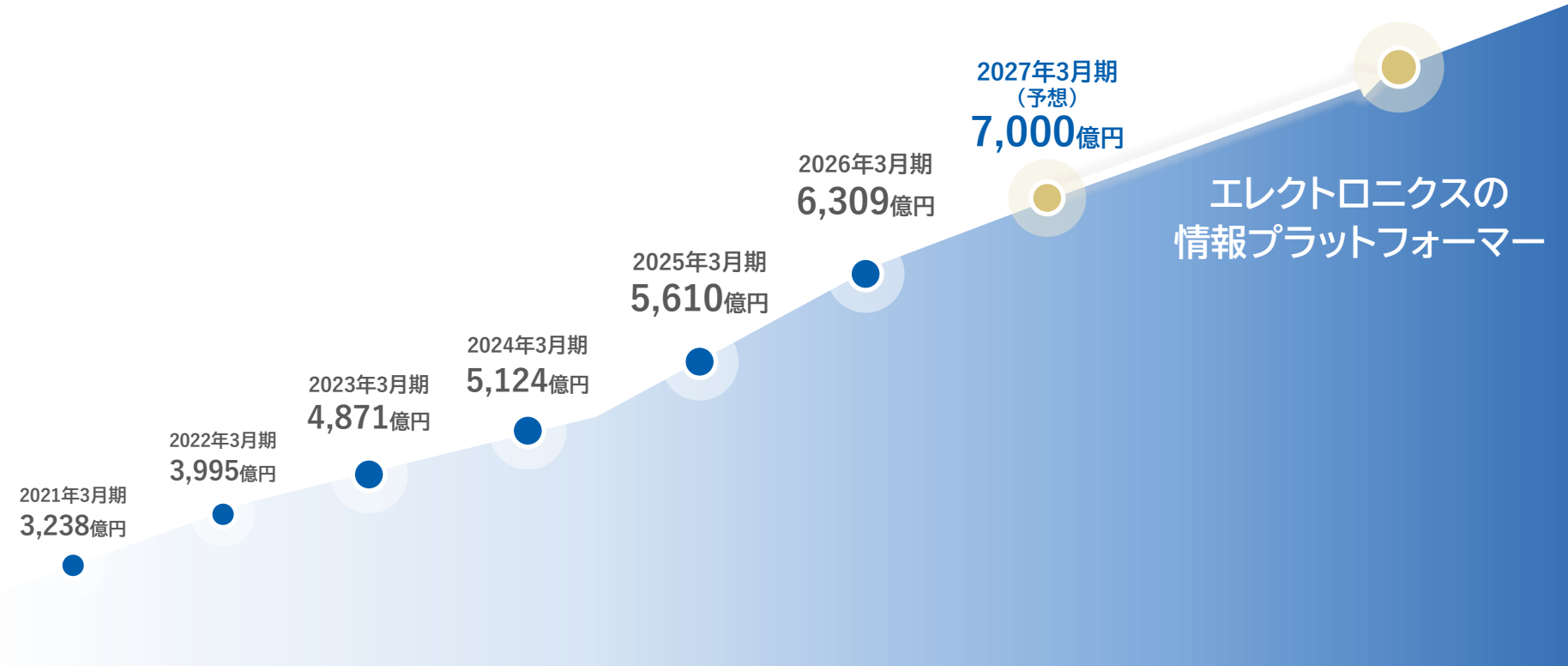


エレクトロニクスに関する世界中の課題を解決する

「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」へ

更なる高みへの挑戦

過去からの実績に裏付けされた経営力
私たちが目指す「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」へ！



株主還元方針及び配当予想

株主還元方針

■ 2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

- 安定的な株主還元の充実、成長領域への積極的な投資と財務健全性のバランスを考慮
- 連結株主資本配当率(DOE*)4%以上
- 安定的且つ継続的に増配の実施
- 余剰資金については機動的な自社株買い

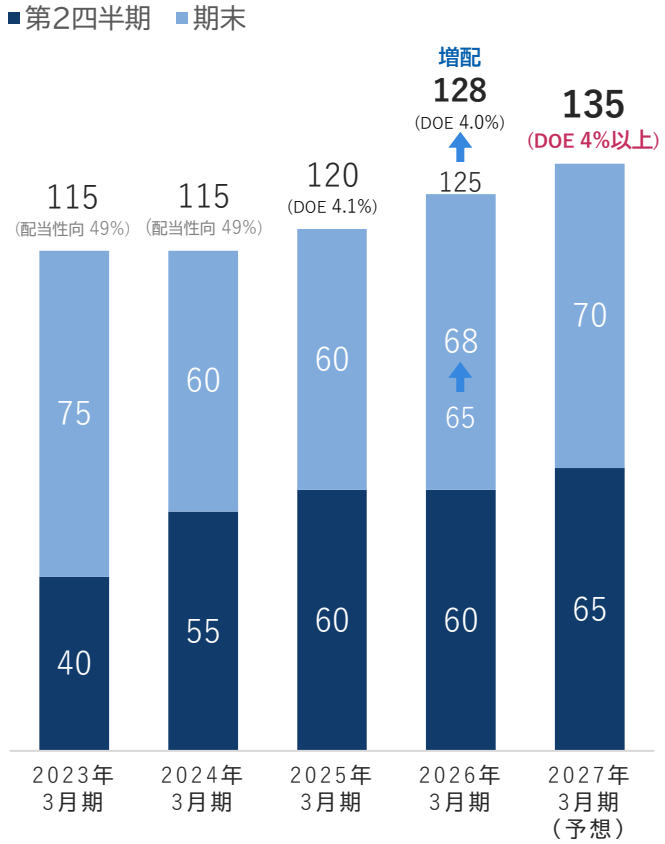
*DOE(Dividend on Equity):株主資本配当率 = 配当額÷株主資本 = 配当利回×PBR
株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のブレに対する影響が少なく、安定的な配当となります。
当社は、株主の皆様に安心して長期保有いただけるよう、DOEを重要な指標として捉えて、株主還元を行ってまいります。

2027年3月期 配当予想

第2四半期末	期末	合計
65 円	70 円	135 円

1株当たり配当金

(単位:円)



ご挨拶

本日は本総会へご出席賜り、

誠にありがとうございました。